

つて田島の万歳師が始めたのだ。

「田島丹後のタンタンタン」

それに対して、今度備前の万歳師が、

「備前備後のビツビツビツ」

「あ、田島丹後のタンタンタン」

「あ、備前備後のビツビツビツ」

そうやってお互いに掛け合いしながら歩いていっただい。

したらだんだんだんだん歩いてる内に川があつただい。これ橋はねえし渡んなんねがら、

「まあ、なじよすんべなあ」

なんて。んじえも掛け合いは負けでらんにあがら、片方はどんどんどん、

「田島丹後のタンタンタン」

つてくるし、片方は、